東日本大震災復興関連事業チェックシート (平成23年度第3次補正予算) (農林水産省)											
事業名	被災農家経営再開支援事業			担	 3当部局庁	当部局庁 生産局			作成責任者		
事業開始 • 終了(予定) 年度	平成23年度~平成25年度			#	担当課室	農産部穀物課 水田農業対策室			水田農業対策室長 松尾 浩則		
会計区分	一般会計				施策名	⑤意欲ある多様な農業者による農業経営の推進					
根拠法令	_				する計画、 通知等	東日本大震災復興構想会議提言、東日本大震災からの復 興の基本方針、農業・農村の復興マスタープラン					
事業の目的	東日本大震災で被害を受けた地域において、地域の取組として、経営再開に向けた復旧作業を共同で行う農業者に対して、経営再開のための支援金を交付し、地域農業の再生と早期の経営再開を目指す。										
事業概要	東日本大震災による津波等の影響により、23年度以降の農作物の生産を断念せざるを得なくなった農地等が多く発生。これらの被災農地で経営を再開するためには、ゴミ・礫の除去、農地・水路の補修、土づくり等を行う必要があり、これら取組みを共同で行う農業者に対し、経営再開のための支援金として交付。具体的には、①地域で復興組合を組織し、支援金の分配方法等を定めた計画(経営再開支援活動計画)を作成。②国から、市町村等を通じて復旧作業を行う面積に応じた支援金を復興組合に交付。③復興組合において、予め定めた分配方法に従い、復旧作業の対価として農業者へ分配。										
実施方法	□直接実施 □業務委託等 ■補助			·助	口貸付	□貸付 □その他					
23年度予算額	当初	当初 第 1 次補正		第2次補正		第3次補正		計			
	-		221		_	2, 060			7, 281		
成果目標(アウトカム)	成果指標	単位 23年度	標値 (25年度)	_ ′	活動指標	活動指標	<u>i</u>	単位	23年度	活動見込	
	津波等の被害により生産を 断念した農地の早期再開	ha 2,800	15,000	※上段	アウトプット) :()書きは予算措 積に係る見込み	復旧作業に着手する被災	泛面積	ha	(15	5,000)	
単位当たり コスト	(23年度1次補正 46(千円/10a))				算出根拠	1次補正予算額4,141百万F	円/当初見	込面積	9,000ha=	46千円/10a	
事業所管部局による点検											
項 目						内	容				
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方との整合性がとられているか。					・「復興への提言」において、「営農を再開するまでの間、その担い手を支援する観点から、復旧に係る共同作業を支援する必要がある。」と記載(26頁)。 ・「東日本大震災からの復興の基本方針」において、「農業者による経営再開に向けた復旧に係る共同作業を支援する。」と記載(17頁)。						
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。					自民党3次提言、宮城県、岩手県の要望書において、本事業の予算確保、継続を要望。						
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。					去のみでは 業が不可欠 経営再開に じて交付す	害復旧に向けては、災害 除ききれない、小石、ガラ である。本事業は、この 資するもの。さらに、農地 ることにより、農業所得の 復旧後の営農経営体の る。	ラス片など 部分を手 記所有面積 割合が大	ごがあり 当てす。 責ではな こきな担)、農家自 ることによ なく実際の !!い手にヨ	身による作 5り、早期の)労働に応 =厚く支援	
費用対効果や効率性の検証が行われたか。					れについて 土壌改良な	支援金の単価を検討する、ゴミや礫の除去、農地な 、ゴミや礫の除去、農地な どの、営農再開に必要な 『保されている。	カ用水路の	の簡易	な補修、	被害農地の	
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。					営農実態に	事業という性格を踏まえ、 精通している県や市町村 対して指導的な立場から	が事業実	実施主(本となり、	復興組合	
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。						災害復旧事業では取り除 て営農再開のための支援 とはない。					
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。					を事業の対る。また、復	、平成23年4月1日以降に 象としており、迅速に復旧 理組合が策定した事業記 こととなっている。	日作業に続	着手で:	きることと	なってい	